

18. とんではずんで楽しいスポーツ

活動分野	健康・スポーツ	活動に参加している障害者			
		障害種別	身体・知的	年齢	65歳未満
活動地域	兵庫県神戸市	実施主体 【財団法人】	名称:財団法人 神戸市障害者スポーツ協会 住所:兵庫県神戸市中央区磯上通3-1-32 電話:078-271-5330 fax:078-271-5367 URL :http://www.kobesad.jp		

活動概要

市内の特別支援学校に出向き、学校の施設を活用して、知的障害や視覚障害のある人たちのスポーツ教室を開催している。

約1時間半程度、バランスボール・風船バレーボール・ミニトランポリンその他のいろいろな器具を使用して、学生ボランティアと一緒に楽しく運動を行う。

知的障害や視覚障害のある人の外出のきっかけを作り、また、スポーツを通じて障害のない人と交流する機会にもなっている。

< 活動内容例 >

0分 集合・挨拶

10分 バランスボールを使用して準備体操・ストレッチ

20分 ハードル・トランポリン・ラダー・サイバーホイール等
障害物を置いてサーキット運動

40分 サイバーホイールで感覚運動

60分 ミニトランポリンを使用してリズム体操

80分 バランスボールを使用して、ストレッチ・整理体操

90分 挨拶・終了



活動を始めた背景・経緯

神戸市障害者スポーツ協会では、障害者スポーツ教室として12種目45教室を開催しているが、2種目を除き市立市民福祉スポーツセンターで開催している。

スポーツセンターは市の中心に位置し、遠方からは通うのに時間がかかるため参加しにくい状況にあるため、障害者スポーツの裾野の拡大・普及のためにはもっと身近な地域での活動が必要であると考えていた。

そこで、市内の盲・養護学校の施設を活用し、地域に出向いて教室を開催することにした。

活動目的

知的障害や視覚障害のある人が気軽にスポーツに触れる機会を設けることにより、障害のある人の地域での社会参加と自立の精神を養う。また、参加しやすい休日に開催することで、障害のある人の外出を支援する。

活動の成果又は効果

学校以外の身近な場所で手軽にスポーツを楽しむ機会がほとんどないので、地域の学校を利用してスポーツを身近にすることで、障害のある人の休日の外出を支援し、運動する楽しみを提供するとともに体力の向上を図ることができた。

活動を継続する上で工夫した点

休日に学校を利用しているが、特に自閉的傾向のある生徒にとっては、休日は学校が休みという認識が強く、学校に行くとりズムが崩れるため、教室に連れて行きたくても行けないとの保護者からの意見があり、そのため、学校以外の地域の体育館を利用して開催した。



活動を継続する上での課題

重度の障害を持つ人が多い場合は、寒い時期に教室に通うのが難しく、日程調整の際、考慮する必要がある。

実施体制

指導者：神戸市障害者スポーツ協会のスポーツ指導員
2名(常勤)、外部指導員2名(非常勤)
補助：学生ボランティア 10名



キーワード

体操、地域支援

19. 野球の親善試合

活動分野	健康・スポーツ	活動に参加している障害者			
		障害種別	知的・精神	年齢	18歳以上
活動地域	奈良県東和圏域	実施主体 【社会福祉 法人】	名 称:社会福祉法人 心境荘苑 知的障害者入所更生施設 住 所:奈良県宇陀市榛原区笠間 2540 番地 電 話:0745-82-0218 fax:0745-82-0446		

活動概要

施設では、利用している障害のある人たちで作る野球クラブが冬場を除き活動しているが、年に2、3回、地域の野球クラブと親善試合を開催し、交流を図っている。

施設のグラウンドで親善試合が行われるときには、施設を利用する他の障害のある人たちも応援に駆けつけ試合を盛り上げている。また、昼には、相手チームの人たちと一緒にカレーなどを食べ、障害の有無に関わらず、選手も応援団も関係なく、試合や食事を楽しみながら交流を深めている。

施設の野球クラブはこれらの親善試合のほか、地元で開催される障害のない人の野球大会にも時折参加しており、スポーツを通じて地域の人たちとのふれあい、交流を図っている。

活動を始めた背景・経緯

施設では、20数年前より余暇活動の一つとして、野球クラブを作り練習を重ねていた。当初は、交流試合の相手は障害のある人たちのチームであり、障害のない人のチームと交流することはなかった。

その後、障害者スポーツの県大会・全国大会にも参加するなどして、チームがレベルを上げてきた時期に、地元の野球クラブの人が、施設の野球クラブのことを聞きつけて試合申し込んできたのが親善試合の始まりである。その後、定期的で開催している。



活動目的

- ・施設利用者の社会参加を図り、また、クラブ活動に対するモチベーションを高める。
- ・地域の人たちの障害ある人への理解を深める。
- ・施設利用者の余暇活動の領域を広げる。

活動の成果又は効果

- ・試合で勝った時の喜びは非常に大きなものであり、次回も頑張ろうとする姿勢とパワーが選手たちに感じられるようになった。
- ・地域の人たちに障害についての理解が深まった。
- ・選手、応援団に関わらず施設利用者が、障害のない人とともに活動できることに喜びを感じている。

活動を継続する上で工夫した点

日曜日や祝日の活動が多くなるが、試合の実施を支援する職員を配置するなどの配慮をしている(最初は、専属の職員(一人)で相手チームとの交渉などの準備をしていたが無理があり、現在は3人の職員が交代で取り組んでいる。)



活動を継続する上での課題

選手たちの高齢化に伴い、チームの人員を確保ができないときがある。日曜日や祝日の活動が多くなるため、支援している職員の代休を業務に支障で出ないように取らせることも課題である。

実施体制

職員3名
野球クラブに参加している施設利用者9人

キーワード

野球、親善試合

20. 岡山吉備高原車いすふれあいロードレース

活動分野	健康・スポーツ	活動に参加している障害者			
		障害種別	身体	年齢	全年齢
活動地域	岡山県加賀郡 吉備中央町	実施主体 【任意団体】	名 称:岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会事務局 住 所:岡山県加賀郡吉備中央町竹部 2098 番地 電 話:0866-56-8119 fax:0866-56-8017 URL :http://www.kibiroad.com/		

活動概要

岡山県の吉備高原都市を会場に、ロードレース大会を開催、今年で第 22 回を迎える。
ハーフマラソン、10km、3km の部に分かれ、車いすと一般の選手が同じコースを同時に走ることにより、お互いの理解と友情を深め、ふれあいを広げている。

平成 21 年 10 月 10 日:交歓の夕べ(開会式、レセプション)

平成 21 年 10 月 11 日:出発式、競技開始、表彰式、お楽しみ抽選会

(関連イベント)地元各種団体による模擬店や展示即売

参加料:2,000 円(ナンバーカード、ID チップ、参加賞、食事、飲み物等付)

他に企業からの協賛を募るなどし、運営費に充てている。

活動を始めた背景・経緯

岡山県の吉備高原都市は、西日本における保健、福祉、教育、文化の拠点として整備が進められており、昭和 62 年に総合リハビリテーションセンターが開設された。

障害のある人のリハビリテーションとして、障害のない人とふれあいながら積極的に社会参加を促進することを目的としたイベントとして、昭和 63 年に第 1 回のロードレースが行われ、以降、毎年行われることとなった。

活動目的

緑あふれる吉備高原で、障害のある人もない人も、同じフィールドで共に参加し、競いふれあうロードレースを開催することによって、お互いの理解を深め交流を広めるとともに、競技力向上と、健康や体力づくりを目的とする。



活動の成果又は効果

今年で 22 回を迎えることができた。

参加者:車いすの部 105 名 一般の部 1,385 名 計 1,490 名

観客動員:約 9,000 名

ボランティアスタッフ:1,187 名

活動を継続する上で工夫した点

官民一体となり組織をつくり大会運営を行っている。

年間を通じて複数回、組織委員会や実行委員会を開き、進捗状況や課題をその都度確認した。

大会支援自販機を設置し、大会をPRするとともに、売上を運営費に充てている。

地域の中学生や高校生、企業、福祉団体、町内会などからボランティア参加があるほか、広場にテント村を設け、地元各種団体による模擬店や展示即売を行い、地域のイベントとして定着している。



活動を継続する上での課題

車いす選手の参加が増えるよう、クラス分けを検討するとともに、大会の良さを大々的にPRしていくこと。

実施体制

組織委員 24 名、実行委員 20 名

(構成) 岡山県、吉備中央町、吉備中央町教育委員会、吉備中央町体育委員会、岡山県障害者スポーツ協会、吉備高原医療リハビリテーションセンター、国立吉備高原職業リハビリテーションセンター、国立吉備高原青少年自然の家、(株)吉備NC能力開発センター、(社)吉備の里、吉備プラザ会、岡山県車いす陸上競技連盟、(株)吉備高原都市サービス、吉備高原総合福祉センター、パナソニック吉備(株)



キーワード

ふれあい、車いす、ロードレース

21. 誰にも優しい社会づくりを目指す「ユニバーサルとくしま県民スポーツ祭」

活動分野	健康・スポーツ	活動に参加している障害者			
		障害種別	身体・知的・精神・発達	年齢	全年齢
活動地域	徳島県	実施主体 [NPO]	名称:NPO 法人 スペシャルオリピックス日本・徳島 住所:徳島市南矢三町2丁目1 - 59 電話:088-634-3173 fax:088-634-3177 URL :http://www.son-tokushima.or.jp/		

活動概要

「ユニバーサルとくしま県民スポーツ祭」は、スペシャルオリピックス日本・徳島が徳島県に事業提案し開催されるようになった。事業費の多くについては県から拠出され、県との共催という形で2年に1度開催している。

その特徴は、障害のある人となない人、外国の人と日本人、高齢者と若年者、女性と男性といった区別を一切なくし、混成チームを作って同じ土俵で試合をすること。ルールはスペシャルオリピックスに則り、レベル分けをし、チャレンジ精神を称えて全員を表彰している。



競技種目は陸上、サッカー、テニス、卓球、バレーボール、風船バレーボール、フライングディスクの7競技。同スポーツ祭では、開会式及び閉会式での歌や踊り、ランチタイムコンサートなどを開き、大会を盛り上げている。

また、障害のある人たちの施設や取組みを紹介する「パネル福祉展」、障害者施設によるフリーマーケットなどを展開、地域の人も多く訪れている。

誰にもやさしいユニバーサルデザインの概念を取り入れたこの大会は、全国でも珍しい先進的な取組みとして注目されている。

参加人数(スタッフを除く)は、身体障害のある人 200 人、知的障害のある人 300 人、精神障害のある人 100 人、障害のない人 400 人。

なお、スペシャルオリピックス日本・徳島は、知的発達障害のある人の自立や社会参加を目指し、日常的なスポーツプログラムを提供している。成果の発表の場である競技会としては地区大会、日本大会、世界大会などがあり、いつもどこかで活動しているということから「オリピックス」と複数形を用い、最近ではスポーツだけでなく、音楽や文化活動にも力を入れている。

活動を始めた背景・経緯

障害を持つ人や海外から来た人がスポーツを楽しもうと思っても、多くの壁がある。コミュニケーションがうまく取れない。

スポーツのできる場所へ行くのが難しい。仲間づくりも大変。そんな壁をなくしたいとの思いから、スペシャルオリピックス日本・徳島の有志が始めた。「自分の目標と可能性に向かってベストを尽くす」というスペシャルオリピックスの理念のもとに運営し、障壁のない「共生」社会を目標としている。

活動目的

- ・障害のある人や外国人に対する差別や偏見、無理解をなくすこと。
- ・障害の有無や国籍、年齢、性別を越えて広く交流を深めること。
- ・スポーツを通じて障害のある人・外国人と地域社会を結ぶこと。
- ・スポーツを通じて障害のある人が個性を発揮し、自立を支援すること。

活動の成果又は効果

- ・障害のある人や外国人に「楽しい交流イベント」として定着、すべての人を表彰し喜んでもらっている。
- ・合わせて約 2000 人も多くの人が来場してくれ、楽しんでもらっている。
- ・約 500 人のボランティアが参加、障害のある人らの頑張る姿に感動を与えてもらっている。
- ・スペシャルオリンピックス日本・徳島への理解が深まった。
- ・徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくり賞(意識づくり部門)受賞

活動を継続する上で工夫した点

- ・たくさんの人に賛同してもらうため、スポーツ体験会やボランティア研修会など様々なイベントを行いファンを増やしている。
- ・会報(阿波っち)を作成し、支援会員には定期的に活動内容を報告している。
- ・運営資金の獲得と活動PRを兼ねて、障害者施設の祭りやフリーマーケットなどに積極的に参加している。
- ・県や各団体、各学校に積極的に参加を呼び掛けている。

活動を継続する上での課題

- ・県からは事業資金の拠出は今期限りと言われており、運営資金が十分でなく、スポンサーの獲得に四苦八苦している。
- ・中心となって動くスタッフの人材が育っておらず、活動メンバーが固定化。



共生社会実践活動として今後予定しているもの又は実施してみたいもの

- ・「障害者」「外国人」といった言葉をなくす取組みを進める。
- ・各障害者団体との「橋渡し役」としての機能を充実させる。
- ・各小・中学校へへの出前授業の実施・充実させる。
- ・障害のある人の雇用支援ネットワークづくりを進める。

実施体制

職員数: 有給スタッフ1人(非常勤)、ボランティアスタッフ 50 人
スペシャルオリンピックス支援団体と連携し、ボランティアをやってもらっている。
スポーツ祭開催経費: 約 180 円(2009 年 11 月7日)

キーワード

スポーツ、ユニバーサルデザイン